

憩い・学び・遊べる空間 善一田古墳公園が完成しました

乙金東にある善一田古墳公園の完成式典が4月27日(土)に開かれました。

訪れた大勢の皆さんは、オープン記念イベントの遺跡解説や石室特別公開で地域の歴史について学んだり、古代衣装を着た弓矢体験や勾玉づくりなどをしたりしました。

この日は晴天に恵まれ、来園者から「展望の丘からの景色がとても良い。毎日でも散歩にきたい。」や「子どもがのびのびと遊べる場所ができて嬉しい。」との声が聞こえました。

いにしへの風が薫り緑あふれるスポットです。ぜひ遊びに来てください。



大勢の人でにぎわいました 第1回藤まつり

4月27日(土)、乙金さくらの森で第1回藤まつりが行われました。

肝心の藤の花は、暖冬の影響からか、もう散った後でしたが、しいたけコマ打ち体験やガイドウォーク、草木染などの体験イベントを楽しみ、夕方からはビールを飲みながらポップスやジャズを聴くなど、一日ゆったりとした時間が過ぎていきました。

しいたけコマ打ちでは、クヌギの原木100本が用意され、ドリルで穴を開け、菌を打ち込む体験をしました。大城から参加した夫婦は、「1～2年後にしいたけが出るということで、楽しみにしています。」と話し、重たそうに持ち帰っていました。



5年連続5回目 どんたくに出たじょー!

5月3日(祝・金)に行われた、「第58回福岡市民の祭り博多どんたく港まつり」のお祭り本舞台に「住みよいまち!大野城 どんたく隊」が出演しました。

本市PRキャラクター「大野ジョー」と市職員の有志メンバーや筑紫中央高校ダンス部の皆さんが、大野ジョーのオリジナルダンスを踊って盛り上げ、心のふるさと館やふるさと納税など大野城市のPRも行いました。

10連休ということもあり、多くの人々が観覧に訪れ、大野城市を知ってもらおう良い機会になりました。



大文字

新元号の発表から間もなく新紙幣のデザインが発表されました。人物が一新されたことはもちろんですが、紙幣中央の金額表示が漢字から算用数字に変わったことが新しく感じました。これは外国人が使うことに配慮したもので、世界的な流れに沿って見やすく大きな表示にしたとのことです。

新紙幣を手にするのはまだ先ですが、来年には東京2020オリンピック・パラリンピック(以下「東京2020大会」)が開催され、たくさんの外国人の来日が予想されます。この大文字執筆中に観戦チケットの抽選申込受付が開始になりました。日本で観戦できる貴重な機会なので、私も申し込んでみました。抽選結果の発表を楽しみに待ちたいと思います。

本紙でも5月1日号より「東京2020大会に詳しくなるうー!」という連載が始まりました。知っておきたい基礎知識や雑学などを毎月1日号に掲載する予定です。東京2020大会観戦がより楽しめるよう、ぜひ参考にしてください。

Ⓜ